

ASEAN特有の成長機会に注目しながら ポートフォリオを構築

高成長ASEAN小型株式ファンド 追加型投信/海外/資産複合

- ▶ 本レポートでは、9月27日に設定しました「高成長ASEAN小型株式ファンド」(以下当ファンド)のポートフォリオ構築につき、その詳細をご報告いたします。また、「マニュアル・ASEAN小型株式ファンド(適格機関投資家専用)」(以下投資先ファンド)の運用会社であるマニュアル・インベストメント・マネジメントの投資環境見直しをご紹介します。

各種構成比率の状況と投資環境見直し (10月6日時点)

ポートフォリオの構築状況

2023年10月6日現在、投資先ファンドの有価証券投資比率は64.3%であり、個別銘柄の流動性や市場への影響などを考慮しながら、慎重にポートフォリオの構築を進めています。

セクター別では、ASEAN諸国における人口増加や所得向上の恩恵を享受しやすい**不動産セクター**や**消費関連セクター**や、医療ツーリズムの浸透やASEAN諸国の人口動態の多様化などが追い風になると期待される**ヘルスケアセクター**に注目しています(図表1)。また、国・地域別では、タイやシンガポールの比率が高くなっています。

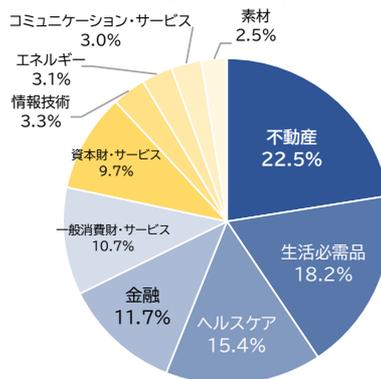
投資環境見直し

先進国の金融引き締めが継続する中、経済活動は予想以上に堅調であり、コア・インフレ率は依然高止まりの状況が継続していることから、世界の金利は今後も高水準で推移することが想定されます。2022年以降、世界的に金融引き締めが継続しています。そのため、株式市場は**世界経済の成長鈍化が意識され不安定な値動きになりやすい状況**といえます。

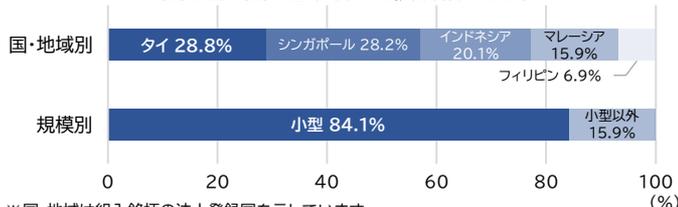
このような環境下では、豊富な現金創出力を有する企業は成長資金を自己資金で調達できるという強みから、外部資金に依存する企業と比較して持続的な成長が出来ると考えており、成長性と健全性を兼ね備えた企業に注目しています。

ASEAN諸国では、人口の増加や多様化、所得増加が見込まれることから、その恩恵を享受すると考えられる**消費関連セクター**や**ヘルスケアセクター**に注目し、ポートフォリオ構築を進めていきます。

図表1 セクター別構成比率



図表2 国・地域別、規模別構成比率



※国・地域は組入銘柄の法人登録国を示しています。

※時価総額が30億米ドル未満の銘柄を小型企業とします。

図表3 組入上位10銘柄

企業名	国・地域	セクター	規模別分類	比率
1 ラッフルズ・メディカル・グループ	シンガポール	ヘルスケア	小型	4.8%
2 フレーザーズ・センターポイント・トラスト	シンガポール	不動産	小型	4.7%
3 タオケーン・ノイ・フード・アンド・マーケティング	タイ	生活必需品	小型	4.4%
4 SIAエンジニアリング・カンパニー	シンガポール	資本財・サービス	小型	4.0%
5 チュララート病院	タイ	ヘルスケア	小型	3.9%
6 ユナイテッド・オーバーシーズ銀行	シンガポール	金融	小型以外	3.8%
7 キャピタルランド・チャイナ・トラスト	シンガポール	不動産	小型	3.4%
8 IGBリアル・エステート・インベストメント・トラスト	マレーシア	不動産	小型	3.4%
9 パンコク・チェーン・ホスピタル	タイ	ヘルスケア	小型	3.3%
10 サピナ	タイ	一般消費財・サービス	小型	3.3%

※比率は、投資先ファンドの現物株式評価額全体に対する比率です。

※セクターはGICS(世界産業分類基準)に準じて分類していますが、一部運用先の判断に基づいて分類することがあります。

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

(図表1~3の出所)マニュアル・インベストメント・マネジメントのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見直し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目録見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

高成長ASEAN小型株式ファンドに関する留意事項

【SBI岡三アセットマネジメントについて】

商号:SBI岡三アセットマネジメント株式会社

SBI岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長(金商)第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様様に帰属します。ファンドは、アセアン諸国の株式、不動産投資信託証券等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「不動産投資信託証券のリスク(価格変動リスク、分配金(配当金)減少リスク)」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」があります。その他の変動要因としては「不動産投資信託証券のその他のリスク(信用リスク、業績悪化リスク、自然災害・環境問題等のリスク、法律改正・税制の変更等によるリスク、上場廃止リスク、流動性リスク)があります。
- ※ 基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
 - 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
 - ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要性が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
 - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。
 - 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
購入時手数料 : $\text{購入金額(購入価額} \times \text{購入口数)} \times \text{上限} 3.3\% \text{ (税抜} 3.0\%)$
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料 : ありません。
信託財産留保額: $1\text{口につき、換金申込受付日の翌営業日の基準価額} \times 0.3\%$

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
運用管理費用(信託報酬)
: $\text{純資産総額} \times \text{年率} 1.166\% \text{ (税抜} 1.06\%)$
運用管理費用(信託報酬)の実質的な負担
: $\text{純資産総額} \times \text{年率} 2.046\% \text{ (税抜} 1.86\%)$ 程度
実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。
なお、実質的な運用管理費用(信託報酬)は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
- その他費用・手数料
監査費用 : $\text{純資産総額} \times \text{年率} 0.0132\% \text{ (税抜} 0.012\%)$
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等、海外における資産の保管等に要する費用を間接的にご負担いただきます。(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社一覧 (2023年10月18日現在)

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○	○		

※岡三証券株式会社は、一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入しております。

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)